

「うつのみや学校マネジメントシステム」学校評価書（小学校版）

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

(1) 基本目標

心身共に健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる判断力を持ち、心豊かにたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

たくましい子（心身共に健康で、強い意志をもって粘り強く行動する）

よく学ぶ子（基礎学力を確実に身に、自ら考え、主体的に学習する）

やさしい子（相手を尊重し、思いやる心を大切にしながら、積極的に他にかかわるとともに、ルールやマナーを守り、状況に応じて適切に判断・行動する）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「家庭・地域社会との連携・協力のもとに、教育目標達成を目指す追求活動の推進」

教育目標の実現を目指して、目標の明確化・共有化を図り、進捗状況評価や学校評価の実施、及び、学年主任会や課題解決のためのプロジェクトを中心とする校内体制の確立により、明確な方向性をもって一貫性のある教育活動を組織・展開する。また、地域協議会を中心として家庭や地域社会とも、目標や課題の共有化に努め、教育環境の整備・充実を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点）

(1) 教育目標の達成を目指し、一貫性のある教育活動を展開する。

- ・全教職員の共通理解、課題意識の共有化
- ・進捗状況・達成状況の把握と、教育活動の随時工夫・改善

(2) 児童の実態及び学校や地域社会の実情等を踏まえ重点化を図って、成果の見える取組を展開する。

- ・児童の主体性を発揮させる活動の充実
- ・人とかかわる力や社会性を培う活動の充実
- ・日常の学習指導の一層の充実
- ・健康・体力づくりの充実

(3) 児童が安心して、いきいきとした学校生活を送ることができる環境づくりに努める。

- ・児童に働きかける潤いのある環境づくりの推進・いじめ防止対策の強化

(4) 教職員の学校経営への参画意識を高め、課題解決に向けて一人一人が考える組織づくりに努めるとともに、オープンで柔軟、効果的、効率的な学校運営に努める。

- ・課題ごとのプロジェクトチームの設置

(5) 課題や問題、事故等に対しては、組織的かつ迅速に対応する。

- ・学年主任会・学年会・校内対策委員会の充実

(6) 組織内の意思疎通に努め、支え合う職場風土の醸成に努める。

(7) 家庭や地域社会と目標や課題の共有化を図り、相互の円滑な連携・協力を努める。

- ・魅力ある学校づくり地域協議会の開催・学校支援ボランティアの積極的な導入
- ・積極的な情報発信・授業参観の改善・オープンスクールの実施

4 今年度の重点目標（短期的視点）

(学校運営)

家庭・地域社会との連携・協力のもとに、教育目標達成を目指す追求活動の推進

(児童生徒指導)

相手を尊重し、思いやる心を大切にしながら、積極的に他にかかわるとともに、ルールやマナーを守り、状況に応じて適切に判断・行動する児童の育成

(健康・体力)

健康・体力に関心を持ち、目標を決めて自ら健康・体力の向上に取り組む児童の育成

(学習指導)

学ぶ姿勢・学ぶ習慣を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成

5 自己評価 (Aは共通評価指標, Bは学校独自評価指標)

(評価指標の〔全〕は, 全体アンケート実施)

(「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入)

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	<p>A1 学校は, 活気があり, 明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p><児童アンケート>自分は, 今の学校が好きである→80%以上</p> <p><保護者/地域住民アンケート>学校全体に活気があり, 明るくいきいきとした雰囲気である→80%以上</p>	<p>日課等の見直しを行い, 係活動, 共遊, クラブ・委員会活動等の時間と場を保障して, 児童の主体的な活動を推進する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>A 1 児童の肯定的回答 89.9%</p> <p>保護者の肯定的回答 86.1%</p> <p>A 2 児童の肯定的回答 94.7%</p> <p>保護者の肯定的回答 84.7%</p> <p>A 3 児童の肯定的回答 74.4%</p> <p>保護者の肯定的回答 77.2%</p> <p>A 4 児童の肯定的回答 90.6%</p> <p>保護者の肯定的回答 77.4%</p> <p>A 5 児童の肯定的回答 90.1%</p> <p>保護者の肯定的回答 89.3%</p>
	<p>A2 教職員は, 組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p><児童アンケート>先生方は, 大切なことをしっかり教え, 熱心に指導してくれる→80%以上</p> <p><保護者/地域住民アンケート>教職員は, あいさつや応対が丁寧で誠実である→80%以上</p>	<p>学校経営への参画意識を高め, 主体的な職務遂行に努める。</p> <p>全員参加の授業研究を一層推進するとともに, 家庭・地域等に積極的に情報を発信したり, 交流の機会を設けたりするよう努める。</p>		B
	<p>A3 児童は, 授業と生活のきまりやマナーを守り, 秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p><児童アンケート>児童は, 授業と生活のきまりやマナーを守って生活している→80%以上</p> <p><保護者/地域住民アンケート>児童は, 授業と生活のきまりやマナーを守って生活している→80%以上</p>	<p>宝木小児童の約束をもとに, 生活目標を設定し, 目標達成に努める。</p> <p>校内の指導方針の明確化と家庭や地域社会との連携強化に努め, 児童の規範意識の向上を図る。</p>	A	<p>A 2について</p> <p>教職員の学校経営参画意識や指導力を高めるよう, 組織体制を一層工夫するとともに, 一人一授業の実践を継続する。また, 保護者・地域住民に, 本校の取り組みについて積極的に情報を発信していく。</p> <p>A 3について</p> <p>具体的な場面を捉えての児童指導に努めるとともに, 啓発資料の作成・配付や意見交換の場の創出などにより, 児童・保護者・教職員さらに地域住民が一層共通理解を深められるようにする。</p>
	<p>A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p><児童アンケート>先生方の授業は, 分かりやすく, 一人一人に丁寧に教えてくれる→80%以上</p> <p><保護者アンケート>教職員は, 分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている→80%以上</p>	<p>学ぶ姿勢・学ぶ習慣を身に付け, 児童が主体的に学ぶ授業の実現を目指して, 日常の授業改善に努める。</p> <p>少人数学習やTTなどの授業形態の工夫に努める。</p> <p>授業参観等を利用して, 学校としての取組を積極的に紹介する。</p>	B	<p>A 4について</p> <p>校内研究授業を通して, 教員の一層の指導力向上に努めるとともに, 学ぶ姿勢や習慣について教員の共通理解を深め, 発達段階に即した系統的な指導ができるようにする。</p> <p>また, 授業参観等で積極的に授業中の取り組みを公開し, 保護者の理解・協力を得られるようにする。</p>

	<p>A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕</p> <p>【数値指標】 <児童アンケート>自分は、学校での生活や様々な活動が充実している→80%以上 <保護者アンケート>学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている→80%以上</p>	<p>A</p> <p>A5について 児童一人一人が主体的に活動できるよう日課や行事、授業の工夫・改善に努める。また、教育活動の目標の明確化に努め、保護者や地域住民にも理解を得ていく。</p>
<p>学校運営の状況</p>	<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 <保護者/地域住民アンケート>学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している→80%以上</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 A6 保護者の肯定的回答 93.1% A7 児童の肯定的回答 86.4% 保護者の肯定的回答 73.7% A8 児童の肯定的回答 82.7% 保護者の肯定的回答 69.0% A9 保護者の肯定的回答 64.1% B1 保護者の肯定的回答 62.6%</p>
	<p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 <児童アンケート>自分は、地域や企業の方々と一緒に活動したり勉強したりすることで、学習が充実し楽しい→80%以上 <保護者/地域住民アンケート>本校の保護者は、学校の教育活動などに協力的である→80%以上</p>	<p>B</p> <p>【次年度の方針】 A6について 今後の学校教育の動向も見極めながら、地域協議会の組織を見直して、充実・強化に努める。 また教職員も、地域についての理解を深め、効果的に情報収集・発信ができるようにする。</p> <p>A7について 地域社会や保護者に対して、地域学校園の取り組みについて機会を捉えて説明するとともに、地域と連携した教育活動の実際についても理解を深められるようにする。</p>
	<p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 <児童アンケート>学校は、清掃がしっかり行われ、学習しやすく気持ちのよい環境である→80%以上 <保護者/地域住民アンケート>学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である→80%以上</p>	<p>C</p> <p>A8について 清掃活動を見直し、指導の工夫に努める。トイレ等の施設改修については、学校独自の改善は難しい。さらに市への要望を行う。また、潤いのある環境づくりについては、児童も参加させながら、有効な方策を模索していく。</p>
	<p>A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている〔全〕</p> <p>【数値指標】 <保護者アンケート>学校は、教職員が互いに指導力向上に取り組み、指導の工夫・改善に努めている→80%以上</p>	<p>A</p> <p>A9について 本年度の研修をもとに課題を絞り込み、一層の課題追究に努めるとともに、より効力感のある授業研究会となるよう工夫・改善に努める。状況に応じて地域学校園内への公開も検討する。</p>

	<p>B1 家庭・地域社会との連携・協力をもとに、教育目標達成をめざしている。 <保護者/地域住民アンケート> 学校の様子がよく分かり、また伝える場がある。→80%以上</p>	<p>各種たよりやリーフレットの配付、学校開放等を通して積極的に学校の考えを発信する。また、機会を捉えて家庭・地域からの意見も聴取するよう努める。</p>	<p>B 1について 授業参観・オープンスクールの内容を工夫し、保護者や地域住民の希望に応えるとともに、学校の取り組みに理解が深まるようにする。また、目標達成の状況等についても十分説明を行う。</p>
教育活動の状況	<p>A10 元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。[全] 【数値指標】 <児童アンケート>・児童は、あいさつをしている 児童は、きちんとした言葉づかいや返事をしている→80%以上 <保護者/地域住民アンケート>・児童は、あいさつをしている→80%以上</p>	<p>児童の問題意識を喚起し、児童主体のあいさつ運動を工夫する。 場に応じた適切な言葉づかいについての、組織的、継続的な指導の具体化に努める。</p>	<p>【達成状況】 A10 児童の肯定的回答 79.1% 69.1% 保護者の肯定的回答 52.6% 地域住民の肯定的回答 64.6 B2 児童の肯定的回答 88.0%</p> <p>B 【次年度の方針】 A10について 特に、言葉づかいについて、児童への意識付け、家庭との協力、教職員の指導の徹底、環境づくり等、指導を継続する。</p>
	<p>B2 相手を尊重し、思いやる心を大切にしながら人とかかわっている。 【数値指標】 <児童アンケート>児童は、友だちを大切にしたり、自分を大切にしてくれる→80%以上</p>	<p>異学年集団活動、クラブ活動等の多様な集団活動の在り方を工夫し、他とのかかわりの場を意図的・計画的に設け、その中で自分たちで問題を解決していけるようにする指導に努める。</p>	<p>B 2について 児童が、日常生活の中で思いやりの心を身に付けていけるよう、他との様々なかかわりの場を積極的に設定するとともに、教育相談やQUによる生活実態の把握に努める。</p>
健康・体力	<p>A11 毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている。[全] 【数値指標】 <児童アンケート>自分は、好き嫌いなく食べている→80%以上 <保護者アンケート>自分の子どもは、朝ごはんを食べ、好き嫌いなく食事をしている→80%以上</p>	<p>「元気アップカード」の実践を通して、保護者と共に、児童が食を意識できるように努める。</p>	<p>【達成状況】 A11 児童の肯定的回答 75.8% 保護者の肯定的回答 87.1% B3 児童の肯定的回答 87.7%</p> <p>B 【次年度の方針】 A11について 「元気アップカード」を見直し、家庭と連携した食育指導の推進にさらに努めていく。</p> <p>B3について 運動環境の改善・充実を図るとともに、「元気アップノート」の一層効果的な活用法について、教職員の共通理解を深め、児童の体力づくりを推進する。</p>
	<p>B3 自ら目標をもち、主体的に体力づくりに取り組んでいる 【数値指標】 <児童アンケート>児童(生徒)は、休み時間や放課後などに積極的に運動している→80%以上</p>	<p>「元気アップノート」を有効に活用し、児童が自分の目標をもって体力づくりに取り組む指導に努める。</p>	<p>B</p>

	<p>A12 授業に熱心に取り組み、基本的な学習態度・技能が身に付いている。 【全】 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、進んで挙手し、大きな声で発表するなど授業に対して積極的に取り組んでいる→80%以上</p> <p>学 習 B4 自ら考えたり、友だちと話し合ったりしながら、問題を追究しようとする。 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、先生や友達の話をよく聞くなど落ち着いて学習している→80%以上 ＜保護者アンケート＞児童は、自分の考えを持てるようになってきている。→80%以上</p>	<p>学習のきまりを明確化し、日常の授業における具体的な場面を捉えて、指導の徹底を図る。 授業の中に積極的に考える時間や発表の場を設定し、互いに学び合い、高め合う授業の実現に努める。</p> <p>家庭学習についてもきめ細やかに支援を行い、家庭と一体となって習慣の定着に努める。</p> <p>校内研修を通して、日常の授業に「話し合い活動」を積極的に設定し、お互いに認め合う環境の中で児童が安心して自分の考えをもち、発表しながら、相互に高め合うよさが感じられる授業を追求する。</p>	<p>【達成状況】 A12 児童の肯定的回答 79.7% B 4 児童の肯定的回答 80.3% 保護者の肯定的回答 73.7%</p> <p>B 【次年度の方針】 A 1 2について 発達段階に即して学習のきまりについての指導を徹底し、児童の意識を一層高める。課題解決的な学習の展開に努める。 家庭と連携して、家庭学習の一層の定着に努める。</p> <p>B 4について 考える時間、話し合いの場、発表の場を日常の授業の中で積極的に設定する。それぞれの時間・場における指導の在り方について、一層研修を深めるよう努める。</p>
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B5 目指す児童像実現のための、本校3プロジェクト（体カアップ・学習力アップ・マナーアップ）が主体的・積極的に推進されている。 【数値指標】 ＜教員アンケート＞主体的にプロジェクトに関わり、創造的に改善に取り組んでいる。→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞学校は、教育目標達成のために工夫している。→80%以上</p>	<p>課題ごとにプロジェクトによる取組を積極的に展開し、教員が主体的に創造的な改善策を提案しやすいよう、環境整備に努める。</p>	<p>【達成状況】 B 5 教員の肯定的回答 58.0% 児童の肯定的回答 89.3% 保護者の肯定的回答 62.0% 地域住民の肯定的回答 64.6%</p> <p>B 【次年度の方針】 B 5について 授業時数の増加などにより、教職員の負担が増す中で、取組を思うように進められない現実があった。今後、活動時間の確保と推進体制の見直しにより、教職員が創造的に改善に取り組む姿勢や学校経営参画意識を高められるよう努める。</p>

〔総合的な評価〕

今年度の学校評価書を昨年度のものと比較すると、30の数値指標のうち、1ポイント以上の低下が見られた評価指標が10、反対に、1ポイント以上の上昇が見られたものは9となっており、データ上は、今年度の取組の成果がはっきり出ているとは言えない状況である。また、指標ごとに見ると、児童のルールやマナー、あいさつや言葉づかいに関する内容、学習環境に関する内容などが低い傾向があり、傾向としては昨年度とほぼ同様である。また、今年度は、本校の特色・課題等に関する内容が若干厳しい評価となっており、これらについては一層の改善が求められる。逆に、学校の雰囲気、教職員の姿勢、教育活動の実施、情報の積極的な発信等については、比較的良好な評価結果となっている。

児童、保護者、地域住民、教職員、それぞれの回答を経年の変化で見ると、児童については、本校が独自に実施している児童意識調査の結果では、全体的に改善している様子も見られるが、今回のアンケートでは昨年度と大きな変化は見られない。保護者については、地域社会との連携に関する内容や学校の取組などについては、若干高い評価となる一方で、児童のあいさつなどについては低下している。その他はあまり変化が見られない。地域住民については、昨年度多かった「判断できない」という回答が全体に大幅に減少しており、情報の発信や学校支援ボランティアの積極的な導入等が一応効果を上げていると判断できる。教職員について、全体にポイントが低下しており、評価が厳しくなっている。

また、児童の生活態度に関する教職員の評価は、児童の自己評価とは異なり、今回も厳しい評価となる傾向が見られる。本校独自の意識調査でも同様の傾向が見られる。教職員は児童の生活態度に関して問題意識を感じているが、改善策がなかなか有効に働かず、児童自身も問題意識が低いいため課題を改善できない状況が続いていると考えられる。児童も含めて、教職員と保護者間で課題の一層の共有化を進め、それぞれの立場からさらなる課題解決に努める必要があると思われる。今後は、そのために一層有効な対策の具体化が求められる。

このような評価結果となった原因として、授業時数の増加に伴う負担増や会議等の時間も十分取れない忙しさ、さらには、年度後半の新型インフルエンザ対応などの影響も少なくないものと思われる。学校運営についても、学校教育を取り巻く様々な変化・要因を想定、考慮して、より効率性の高い体制づくりと一層計画的な運営が求められる。

6 学校関係者評価

児童や教職員と比べ保護者の肯定的評価が低くなっているのは、学校の状況を十分に理解しているとはいえないからではないだろうか。これは、学校の情報が保護者に十分伝わりにくいことが考えられる。学校は、保護者に対して一層情報提供の努力・工夫が求められる。

今後、情報提供を通して、一層学校と家庭の連携を強化し、課題解決に向けて具体的な対応を進めていく必要があると考える。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

これまで3年間の見通しで目標を立て、課題を明確にして組織的な取組に努めてきているが、総合的な評価としては、課題はほぼ明確になったものの、まだ十分解決が図れたとは言い難い状況である。今後、次の中期目標を明確にして、全体的に具体策を見直すとともに組織体制についても検討して、一層の改善に努める必要がある。また、取組の基盤として、今後も教職員の学校経営参画意識の高揚、地域社会との連携に努めることも重要である。